

(様式1)

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者さんが「地域の中 で暮らし続けることが出来る」取り組みをしながら「利用者様にやすらぎを、ご家族に安心を」の理念を心がけています	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と一緒に運営上の方針、目標を日々話し合い、理念の実践に職員同士協力しながら取り組んでいます	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ホームの玄関に掲示してあり、折りに触れ地域の方やご家族にわかりやすく説明しています	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	班の一員として回覧板回しや、また隣人との挨拶は勿論会話も楽しんでいる。週に2～3度農作物の差し入れや利用者さんの話し相手に来ており馴染みの関係を築いています	○ ホームで犬を飼っているの、散歩を通じて今以上の交流をもち、ホームの理解、認知症の理解を深めて行きたいと思います
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	1月と8月の年2回地元のお不動尊の縁日に煮物などを作ってお参りに出かけ、地元の人達の持ち寄った料理をご馳走になり、また一人ひとりお土産をいただいています	○ 区長さんからの誘いもあり、また隣人の方も縁日にはあかりの分のお赤飯を用意してくださり一緒に出かけている。花壇の花の植え替えや書道ボランティア申し出があり、交流を深めていきたいと思っています

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	同敷地内に支援センター、デイサービスがあり協力しながら、介護教室や、各種勉強会を開いたりしています。またコミュニティルームにて月1回地元の人を交えてフラワーアレンジ教室や中学生のマイチャレンジ（社会体験）なども受け入れています	○	隣接のデイサービスと一緒にボランティアによる各種催し物に参加しているが、日々の中で通所者との交流を深めていきたいと思っています
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価された点は維持向上に努め、改善点については職員間意見を出し合い改善に取り組んでいます。居室の温度調節、介護記録の書き方、苦情相談など	○	介護サービスの質の向上を図るためにも評価を受け止め、職員間常に意識し日常業務の中に活かしていきたいと思っています
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	前回の外部評価の公表を行い利用者への取り組みを説明、話し合いをおこない意見をサービスに活かしています	○	地域に密着したサービスの質の向上、また緊急時(火災、地震)の対応の仕方など連携を図っていききたいと思っています
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の開催する会に参加。窓口に直接出向いたり、電話での連絡を行いながら情報交換しサービスの向上に努めています	○	市及び包括支援センターとの連携を深めていきたいと思っています
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員は制度として理解しているが実際支援は機会がなくおこなっていません。	○	公的機関の講習会等に参加し必要性、活用性を学び支援できるようにしていきたいと思っています。また成年後見制度など内部研修も行っていきたいと思っています
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	県や市の開催する研修会に受講及びホーム内の勉強会への参加等、全職員が学ぶ機会を持ち話し合いの場を設け事業所内での防止に取り組んでいます	○	声かけされても聞こえない振りをする、何もさせない、言葉による抑制など虐待にもいろいろあることを常に考え日常のケアに活かしていきたいと思っています

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約や解約時には分かりやすい説明を心がけています。特に解約時には、利用者さん、ご家族が不安にならないよう質問や疑問点に専門の職員が対応アドバイスしています		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	個別に話す機会を設け、意見、要望、不満、苦情などを聞きそれを運営にいかしています	○	家族会での話し合い、ご意見箱の設置、第三者機関の窓口など意見が集まるよう工夫しています
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時に利用者さんの日常生活の様子、金銭の報告をし確認、サインをいただいています。また電話での報告もその都度行っています。月一度あかり便りで生活面のお知らせも行っており好評を得ています		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時などに何か意見や要望がないか尋ねたり、家族会開催時に家族の意見として出していたりしています。また玄関にご意見箱を設置しより多くの意見などが集まるようにしています	○	一般に苦情などは言いにくいこともあるため、言いやすい関係作り、アンケート等を行うなど利用者さんやご家族の考え、思いが伺えるような手法を考えていきたいと思っています
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のカンファレンスやケア会議及び勉強会で意見や提案を出す機会を設けています	○	どんな小さなことでもその日のうちに意見や提案を、毎日の申し送り時に伝えることが出来るよう働きかけていきたいと思っています
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	各種行事や誕生会等で外出する際には、勤務体制で柔軟な対応が取れるように心がけています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員間の申し送りをしっかり行い、利用者さんのフエイスシートを活用し状況を把握し混乱を招かないケアを心がけています		
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各種研修、資格取得の講習会への参加など支援を行っています。また職員の育成体制もある。参加後内容の報告会（資料配布）を行い全職員が前向きに取り組んでいます		
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会主催の勉強会、意見交換会や連絡協議会への参加を通してホーム同士の交流を行い問題を共有し互いのサービス改善に取り組んでいます	○	同市内に2ヶ所のグループホームが立ち上がるため、今後情報の交換を行っていききたいと思います
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	離れた場所での休憩や自分なりの時間を持つ体制をとっている。また親睦会を定期的に行っており個別の話し合いの場をもっています	○	人事考課等面接をこまめに行い、心配、不安な事、体の疲れを早めに気づくよう心がけています
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	実務経験や資格取得への支援体制があり各種講習会や研修会への全職員が参加できるよう配慮するとともに定期的な勉強会を開催しています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	電話や来訪時に出来る限りご本人様にもご家族と一緒にきていただき、本人の思いを受け止め、話しやすい雰囲気を作り傾聴を心がけています。また介護支援専門員さんと連携をとり対応しています		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	電話相談や来訪時に要望、悩み等を時間をかけてよく聞き受け止める努力をしています		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族の話を十分話を聞き、ご本人の行動や言動等注意深く観察し適切なサービス利用を検討しています		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	他利用者さんと良好な関係が築けるよう、ご本人との間に入り徐々に馴染めるよう話の橋渡しをしたり雰囲気作りをしています		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者さんと一緒に料理、掃除、農作業を通し喜びや達成感を味わったり、会話から昔ながらの行事や慣わし、また生活の工夫など教えていただいています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時に利用者さんの気持ちを伝えたり外出したり、また家族参加の行事を設けたりホーム内で食事を一緒にするなど共に支えていく体制を築いています	○	家族と一緒に昔好んで食べていた料理などを作り誕生日を祝う。野菜づくり、花作りなど家族単位で出来るものから取り組んでいきたいと思います
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時等生活の様子をお伝え、しご家族の思いを聞いたりしている。また月一度の便り、電話での連絡、外出の支援、面会時にはゆっくり話すことが出来るよう場の提供をしています		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方の公演に招待されたりボランティアとして来たり、また手紙や電話での支援もおこなっています	○	利用者さん宅に定期的に出かけます。馴染みの方が気軽にホームに来訪できる取り組みをおこなっていききたいと思います
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	台所も二人以上で入ったりレクリエーションやお互いの会話にも職員が間に入り仲間作りのお手伝いをしたり、また散歩も何人かで言い会話が出来る支援をしています		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院や他施設に行かれた時は面会に行ったり相談事にも随時対応しています。会ったときには声をかけを大切にしています		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	○	本年度の目標「利用者一人ひとりの思い、その人らしさを大切にする」を掲げケースヒストリー作成に全職員が携わっています。「センター方式」の利用、勉強会の開催
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	○	一方的なケアプランにならないよう、利用者さんの思いを大切に、主体性や日常生活の豊かさをより大切にした介護計画作りを心がけていきたいと思います
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の記録やプランの支援経過により職員全員が目を通し情報を共有することで、新たな意見が出されプラン見直しにいかしています	○	詳しい記録をすることで状況の変化が分かり情報を共有することで気づきやケアの工夫に活かし柔軟なプランに結びつけていきたいと思います
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	コミュニティルームを利用しお茶を楽しんだり、デイに通われる友人に会いに行ったりしています。またレクリエーション道具を借りたり、看護師に相談したりしています	○	医師やOTが時々来所し適切なアドバイスを受けています。各部署との連携を図り情報交換を密にし様々なサービスを取り入れていきたいと思います
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域ボランティアの訪問、消防署による避難訓練、地域コミュニティセンター主催の催し物、図書館の利用等を行っています	○	地域資源を活用しどんどん地域の中へでる支援を行っていききたいと思います
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	利用者さんやご家族の要望、意向を聞き必要に応じて対応しています。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	連絡は取り合っているが実際具体的な取り組みは行っていない	○	運営推進会議などを通し地域包括支援センターとの具体的な関わりについて検討していきたいと思います

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診日、付き添う職員も考慮し利用者さんが希望する診察が受けられるよう支援しています。また情報交換も行っています	○	利用者さん、ご家族が希望する「かかりつけ医」を大切にしています。
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	利用者さんの主治医との綿密な連携を取り、相談しながら診断、治療を受けています		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	同敷地事業所の看護師や母体医療機関の看護師、医療連携などの看護師に相談しながら健康管理や医療活用の支援を行っています		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	定期的に職員が訪問し医療機関と相談しながら利用者さん、ご家族の意向に沿った対応をしている。また病院関係者と連携を図り情報交換をしています		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	面会、家族会開催、会議等で重度化した時のあり方について話し合いをしています	○	終末期に向けた取り組みは利用者さん、ご家族、母体医療関係者（医療連携関係者）と話し合いながら取組んでいきたいとおもいます
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	同一法人にクリニック、老健があり「どの場所で生活するのがよりよく暮らせるのか」を考え利用者さん、ご家族、主治医と相談しながら支援しています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	自宅で使っていた家具、思い出の写真、置物など、また日常生活用品等を持ってきて頂いたり、今までの生活のあり方を十分考慮し傾聴を心がけています。退去時には情報提供を行っています		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者さん一人ひとりの誇りや尊厳を守りプライバシーを損ねない声かけをしています。また記録物は目に付かない所定の場所で保管しています		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者さん一人ひとりの返答能力に応じた声かけを心がけ、訴えに耳を傾け自己決定できるよう対応しています	○	一人ひとりが自己決定(選んでいただく場面)できる機会を日常の中に多く取り入れていきたいと思います
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者さん一人ひとりのペースを把握し、自分なりの過ごし方を自分で決めることができるよう支援しています		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	月1度理容ボランティアの方が来てくれています。また昔からの行きつけの店に行かれる方もいます。起床時にはお手伝いをしたりアドバイスをしています	○	髪に櫛を入れ整える、ボタンの掛け違い、男女とも口周りのひげなど整容には特に気を使っています

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材購入に出かけたり、切る、炒める、盛り付け、後片付けと職員と一緒に楽しまれて手伝って下さっています。また一緒に食事をとり会話の支援も行っています	○	給食委員が利用者さんの希望など聞き献立を作成しているが、その日の天候、会話の中で出てきたものなど、その日の内に提供できるような対応を心がけていきたいと思います
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	おやつや飲み物など好きな物を選べるよう支援しています。休まれる前に、養命酒を欠かさず飲まれている方もいます	○	一人ひとり好みを把握し選らぶことのできる場面を多く作っていききたいと思います。バイキングなど多く取り入れていききたいと思います
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を作成し、必要な方には誘導、介助を行っています。失禁の対応には不安、羞恥心、プライバシーに配慮しています。一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレでの排泄の支援を行っています	○	布パンツを使用しトイレ誘導や声かけ、見守りでオムツ使用を極力避けていききたいと思います
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとり好きな時間帯、回数など希望にあわせ対応しています。好みの温度、湯の量にも配慮しゆったりした入浴を心がけています		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中は散歩、体操を取り入れてできるだけ体を動かし、適度の疲労感を得ています。寝付けない利用者には暖かい飲み物を提供したり、よく話を聞き安心して入眠できるよう支援しています。また希望により主治医と相談し眠剤を使用している利用者さんもいます		
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	昔の職歴や趣味、得意なこと等利用者さん一人一人に合った楽しみや活躍できる場面を多く作る支援をしています	○	日常生活において、利用者さんの持てる力を引き出し自信につながるような働きかけをしていきたいと思います

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者さんの希望や力量に応じ、またご家族の意向を伺い管理方法を決めています。残金を一緒にチェックしたり買った物の内容を把握したりしています		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は庭先、散歩、買い物など外に出る機会を多く取り入れています。またドライブや直売所など定期的に出かけています	○	散歩やドライブなど多く取り入れているが、一人ひとりの歩行能力、体力を考慮した取り組みをしていきたいとおもいます。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節に応じた行事を利用者さんと一緒に計画し、外出する機会を多く持っています	○	市内の野仏、文化財めぐり、庭園めぐりなど日常生活を豊かにするお手伝いをしていきたいと思っています
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の希望があればいつでも対応を行っています。また絵手紙教室で書いたはがきを出したり、年賀状をだしたり手紙の読み書き等の支援をしています		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	来居時玄関まで出迎え、お茶や食事等も提供して来やすい雰囲気心を心がけています。また帰り際にはまた来ていただけるよう声かけを行っています		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について勉強会を行い拘束のないケアを全職員で取り組んでいます。鍵をかけたりせず見守りを行い人権を尊重しています	○	全職員が拘束は絶対しない、ゆるさないを掲げさらに取り組んでいきたいと思っています

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関にチャイムを設け、暖かい日は開けたままにしてあり、支援センター、デイサービス職員と声かけ合い支援しています		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	台所とリビングが対面式のため、常に目の届く場所に職員が居る様心がけています	○	利用者さんがひとりで歩かれているような時、協力をいただけるような関係を築いていきたいと思います
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	裁縫道具の針に関しては必ず使用前と使用後の本数の確認を行っています。薬は鍵のかかる棚、洗剤は手の届かない場所、刃物もケースに収め目の届かない場所に保管しています		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	勉強会や研修等で事故防止の知識を習得、また対応マニュアルを作っています。ホーム1.5km以内の危険箇所チェックシートを作成しています	○	ひやりハット、事故報告書などを活用し全職員で情報を共有し再発防止に努めています
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	看護師、消防署の協力を得て急変時の対応の仕方、AEDを設置し使い方の勉強会や講習を行って事故発生に備えています	○	安全衛生委員会などで勉強会を開いていますが、忘れない様定期的に繰り返し、体で動ける様にしていきたいと思います
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署の協力を得て避難誘導、初期消火訓練を行っています	○	地域の方と日頃の挨拶を心がけ、常日頃から交流を深め馴染み関係を構築していきたいと思います

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	面会時に状態を説明し理解していただくよう働きかけています。利用者さんが安全で自由な暮らしが出来るよう支援しています		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	定時のバイタルチェックを行い小さなことにも目をむけ見過ごさないようにしています。医療機関との連携を図り早め早めの対応を心がけています		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬を把握しており与薬においても、間違いのない様何度も確認しています。服薬説明書は常に確認できるようになっています	○	申し送りなどで定期的に注意を促し緊張感をもって携わるようにしていきたいと思います
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	体操、散歩、水分補給、麦ご飯の提供等食事にも気をつけるようにしていますが医師と相談し下剤の使用も行っています		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後口腔ケアの声かけ、見守りを行い利用者さん一人ひとりに応じた支援をおこなっています。また近くの歯科に定期的に通われ歯肉の状態を見ていただいたりしています	○	全職員が口腔ケアの大切さ、全身に及ぼす影響を認識し、いくつになっても楽しく、おいしく食べることができるよう働きかけていきたいと思います
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者さんの好む献立の提供を心がけ食べやすいように工夫、また排便がスムーズに行えるよう野菜やきのこを多く使用しています。時々栄養士の助言をいただき、メニューに活かしています。水分補給もその時の状態に応じて対応しています。	○	2kgの体重変化がある場合は医療連携に報告することになっています。また栄養士さんにカロリー、塩分の摂取量を調べてもらいその結果を献立、味付けに活かしています

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染予防マニュアルを作成し、安全衛生委員会などで勉強会も開かれています。利用者さん、職員のうがい、手洗いを徹底しています。食事前には手の消毒もおこなっています。	○	インフルエンザ発生しやすい季節には面会者の協力を得られるように声かけをしていきたいと思ひます
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	安全衛生マニュアルがあり、調理器具の消毒、ふきんやコップの漂白などを行い、冷蔵庫内も毎日拭いています。また賞味期限内の食材の使用、作りおきをしない等管理につとめています		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関には観葉植物を置き、また玄関にはプランターの鉢植えが置いてありいつも花を切らさないようにしています。利用者さんも日に何度も中庭に足を運んで花や野菜の生育状態を見て楽しんでいます。	○	中庭で野菜作りも行っています。今年初めて箱にて稲の栽培に挑戦、利用者さんも成育を楽しみにしています。これからも色々な作物を利用者さんに教えていただきながら、栽培していきたいと思ひます。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールは南側にあり日当たり良好、またゆったり過ごせるよう音楽を流したり、カーテンで採光の調節、植物を置いたり季節の花を花瓶に生けたり空間作りに工夫しています	○	共有空間の居心地のよさを高めていきたいと思ひます
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関先に椅子を置いたり、フロアー内にソファの場所があり皆自由に使用しています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使っていた家具や身の回りの品を持ってきたり、またテーブルやソファ等も置いてあり居室でゆったり過ごせる空間作りの声かけを行っています	○	家具等の持ち込みは利用者さん、ご家族に任せているがベッドのみではなく馴染みのものを置いていただき、利用者さんが安心できる空間作りをもっと家族に働きかけていきたいと思います
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	天気の良い日は窓を開け換気を行い、クローゼット内も開けてたりしています。シーツ交換、布団干しをこまめにおこなっています。空調を適宜行い、快適な生活が送れるよう心がけています。	○	排泄物等は速やかに棟外の所定の場所に置くことになっています。居室内にこもった臭いがいい様、日常的に換気に気をつけ、気持ちよく過ごせる環境を作っていきたいと思います
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内は段差がなく廊下やトイレには手すりがついており、また浴室内もスベリ止めマットを使用したり安全確保をおこなっています。居室の入り口も広く取り、出入りしやすくしてあります。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室ドアには利用者さんの目線にあわせ名前を貼り、またトイレ入り口には大きな目印があり混乱しない様工夫しています。日めくりカレンダーを設置し利用者さんと一緒にめくっています		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	外回りに椅子を置き、お茶や、おやつを楽しんでいます。また庭先にスロープを取り付け、自由に花を見たり、農作物の収穫が出来るようになっています。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

Ⅴ. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

日常生活で心がけていることは、朝起きてきた順にお茶をゆっくり飲んでいただき、気持ちよい一日をスタート出きる様朝茶を大切にしています。一人ひとりの身体状況に配慮し会話しながらの散歩を日課としています。ホームの外に出、地域の中に出かける機会を多くとり社会の一員として生活すること、また五感への働きかけ（花を見たり、鳥の声を聞いたり、風や太陽の光を肌で感じたり）などが認知症高齢者には必要と考えております。花の植え替えや農作物の自家栽培など楽しみを増やしながら、地域の方々にも助けられ開かれたホーム作りを続けていきたいと思ひます。職員体制では定期的に勉強会を開いており、ケアの質の向上のために学びあう風土を作り上げていきます。